

教育委員会の点検・評価（令和 6 年度対象）について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、全ての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理執行状況について、学識経験者の知見を活用して、自己点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、群馬県教育ビジョン（第 4 期群馬県教育振興基本計画：以下「教育ビジョン」）に基づき作成した行政資料「ぐんまの教育 2024」に掲げた事業・取組及び指標について令和 6 年度の点検・評価を実施し、報告書がまとまったことから、議会に提出するものです。

1 令和 7 年度教育委員会の点検・評価（令和 6 年度対象）の結果概要

(1) 成果

令和 6 年度に実施した事業・取組のうち、特に成果を挙げられたものは、以下のとおり。

- （非認知能力の育成に係る）群馬モデルの検討・普及に向けた取組の推進
- 県立学校の校務 D X 推進
- 沼田・利根地区新高校整備
- 県立夜間中学教育支援体制充実
- 群馬ならではのインクルーシブな教育の実現に向けた取組
- 心と学びのサポートセンター「つなぐん」の開設

※その他、教育ビジョンの具現化に向け、「エージェンシーを育む学びの実現 PJ」、「体育担当者資質向上」などの授業改善に係る取組や、「SAH」などの児童生徒の主体性を育む取組を積極的に推進しました。

(2) 課題

令和 6 年度に実施した事業・取組に係る課題について、点検・評価委員会（後述）で挙げられたもののうち主なものは以下のとおり。（課題の詳細は、報告書の各重点政策まとめページ参照）

- 主体的な学びの実現に向けた授業改善
- ICT の効果的な活用
- 苦情対応等に当たる教職員の負担軽減
- 県立学校施設整備（空調等）
- 高校生に対する読書活動推進

(3) 指標の状況

設定した指標（68 件）について、令和 5 年度を基準年度とし、令和 6 年度の数値との比較（令和 6 年度数値が未公表の指標は令和 4 年度と 5 年度の比較）を行い、「上昇」・「横ばい」・「下降」に分類したところ、上昇した指標が最も多くなった。

《上昇：33 件（48.5%）、横ばい：18 件（26.5%）、下降：1 件（1.5%）、前年度数値なし：16 件（23.5%）》

2 令和 7 年度の方角性について

教育委員会各所属が行った自己点検・評価を基に、教育ビジョンにおける重点政策ごとに「令和 7 年度の方角性」を記載しました。

3 群馬県教育委員会の点検・評価委員会

「群馬県教育委員会の点検・評価委員会」を設置し、学識経験者（大学教授ほか計 5 名）からの意見を参考に点検・評価を行いました。

※各事業・取組の詳細については、各担当所属へお問い合わせをお願いします。